

迫る | つながる | たのしむ | 気になる |

## わたしのふるさと便



岐阜県

わたしの穴場

「川辺町・岐阜のグランドキャニオン」

**登** 山者向けインターネットサイトで「岐阜のグランドキャニオン」と紹介され、ここ数年、話題の絶景スポットとなっているのが岐阜県川辺町の遠見山(272㍍)だ。山頂部分からの眺めが、米国のグランドキャニオンのようだという。はたして本当なのか。

登山道入り口から山頂への道のりは、日ごろ不摂生にしている50代支店長にとってはかなりの急斜面である。息を切らしつつ、所々に設置されたロープにつかりながら登ること数十分、目指してきた「見晴らし岩」に到着した。

見下ろせば飛騨川がU字形に蛇行し、川に囲まれた陸地がある出島のようだ。これがグランドキャニオン近くの景勝地「ホースシューベンド」に似ていると、2021年11月にサイトで紹介され、ジワジワと評判が広がった。

うーん……。本物を見たことがないのでは断言はできないが、荒々しさやスケール感は、やはり本物が圧倒的なのではあるまいか(ホースシューベンドの画像はインターネットなどでご覧)。対する

我が岐阜のグランドキャニオンは緑が豊かでどこか里山の風情が漂い、山歩きの達成感とともにほっこりとした安らぎを感じた。

聞けば登山道は、町と市民有志が協力し、立て看板や木製階段などを手作業で整備したという。山あいにある人口約1万人の町のもてなしの心を知ると、さらに優しい気持ちになるかもしれない。

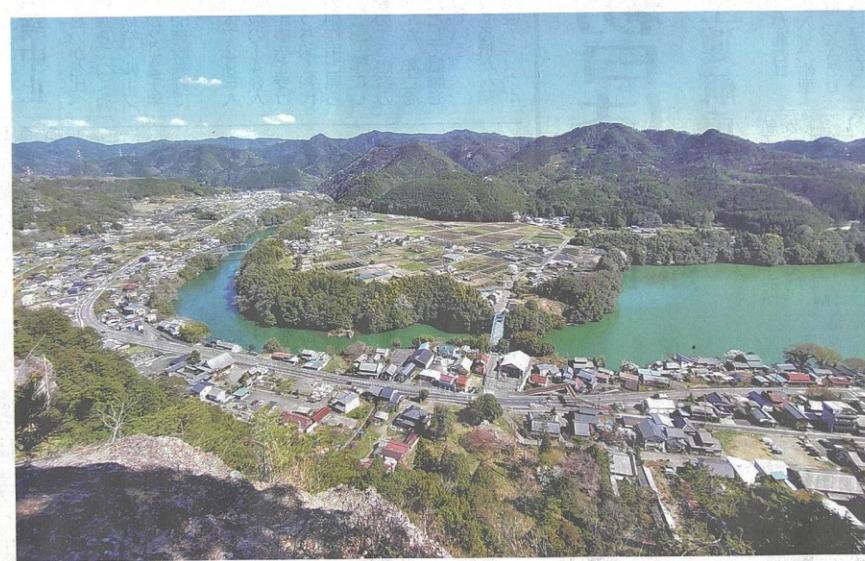
町によると最近の人気で、昨年の遠見山の登山者は、把握できているだけで20年の13倍に近い5654人となった。口コミの当否を確かめたい人も、山歩きを満喫したい人も、温かい気持ちで見晴らし岩からの光景を楽しんでほしい。

【岐阜支局長・安達一正、写真も】

『遠見山近くの南天の滝』  
3月28日



## 心癒やす里山の眺め



「岐阜のグランドキャニオン」と題された遠見山からの眺め 岐阜県川辺町で3月28日



## 「秘密のグルメ」「水ぶりん」

## 白川郷の湧き水ジュレも

優の木村拓哉さんが信長に  
ふんして話題となった昨年

11月の「ぎふ  
信長まつり」。まつりの  
開催場所は岐阜市で開かれた「第1  
回日本プリンアワード」で、全国20店の  
プリンの中から初  
代グランプリに輝いたのが

「白川郷ぶり  
んの家」(岐阜  
県白川村)の看  
板商品「水ぶりん」  
(税込み460円)=写真=

が「新たな名物を作りたい」と2021  
年に始めた。

「水ぶりん」は白川郷の  
湧き水を使ったジュレ  
と、プリン、キャラメル  
が3層になって容器に収  
まっている。ジュレと濃  
厚なプリンが口の中に  
広がり、みずみずしう  
しありた味わいが楽しめる。

グランプリ受  
賞を機に、店  
は白川郷観光  
の新たな人気  
スポットとなった。「水  
ぶりん」は店舗のみでの販売だが、  
オンライン販売している商品もある。  
詳しくは店のホームページで。



## お国トリビア

## オグリキャップ聖地 再び脚光

地方競馬の笠松競馬場(岐阜県笠松町)  
といえば、「オグリキャップ」のデビュー  
の地としてかつて脚光を浴びた。1990  
年代前半に競馬ブームが去った後は存続  
が危ぶまれるなど「冬の時代」が続いた  
が、名馬の遺産を生かし、最近は少しずつ  
人気が回復している。

オグリキャップは87年に笠松競馬場で  
デビューした。翌年に中央競馬に移ると  
重賞レースを次々と制覇。90年の引退ま  
で通算32戦22勝の成績を残し、競馬ブ  
ームを巻き起こした。

笠松競馬場は引退後の92年に「オグリ  
キャップ記念」レースを創設。2010年に  
オグリが死んだ後も続け、今年も4月27  
日に第32回レースが開催された。

こうした中、オグリ関連のレースは貴  
重な呼び物に。インターネットによる馬  
券購入の普及もあり、22年度の売り上げ  
はブーム期を上回る426億円を達成した。

りを擬人化したキャラクターや笠松競馬  
場が作中に登場する縁で実現した。昨年  
は若者を中心に、平均来場者数を大きく  
上回る約4600人が来場。今年も4月下旬、  
関連イベントとともに開催され、盛り上  
がった。

笠松競馬場のレースの売り上げは、競  
馬ブームにわいた91年度が398億円。そ  
の後は減少傾向が続いて財政難に陥り、  
04年末には関係者間で廃止の議論さえ出  
た。12年度には売り上げが106億円まで  
落ち込み、近年もコロナ禍や所属騎手ら  
の馬券不正購入問題が発覚し、長期のレ  
ース自粛を余儀なくされるなど、厳しい  
状況が続いた。

こうした中、オグリ関連のレースは貴  
重な呼び物に。インターネットによる馬  
券購入の普及もあり、22年度の売り上げ  
はブーム期を上回る426億円を達成した。

し切りバス。添乗員同行。朝食付き。高山  
泊でたっぷり高山祭りを見物できます。申  
じ込み・お問い合わせは毎日  
新聞旅行 (03・6265・6966、  
平日10~16時、土日祝休) まで。ツアーの申し込みはQRコードからもできます。



競馬場を運営する県地方競馬組合は「オ  
グリ」は競馬場の一番の宝物。今後も大切  
にしたい」とさらなる復興に期待する。

次回は青森県です

「お国トリビア」では、各県にまつわ  
る隠れた事実、興味深いことなどを取り  
上げます。5月7日は青森県、14日が岡  
山県、21日が福岡県です。気になる都道  
府県についての疑問点や知りたいことなど、  
皆さまのご意見をお寄せください。

## ★レジェンド自慢

杉原千畝 (1900~86)

## 命のビザ発給

「東



洋のシンドラーとも呼ばれる県内出身の外交官。第二次大戦中、領事代理として赴任していたリトアニアのカウナスで、ナチス・ドイツによって迫害されていたユダヤ人に人道的見地からビザを発給し、亡命を手助けした。多くの命を救い、そのビザは「命のビザ」といわれる。

## こんな人も…

前田青邨

[1885~1977] 日本画家で文化勲章受章。代表作に「洞窟の頬朝」

清水ミチコ

[1960~] モノマネで人気のタレント

池井戸潤

[1963~] 「半沢直樹」シリーズなどで知られる小説家

高橋尚子

[1972~] 元女子マラソン選手で、2000年シドニー五輪金メダル

## プレゼント



「ルーペ付きツメキリ」5人  
に

刃物の町として知られる岐阜県関市発祥の刃物メーカー、貝印から「関孫六 LED ルーペ付きツメキリ」(1980円相当) =写真=を抽選で5人にプレゼントします。刀匠・関孫六の伝統を今に受け継ぎながら、大きなルーペとLEDライトで指先が明るくはっきり見え、使い勝手のよい高級爪切りです。

応募はスマートフォンやパソコンからお願いします。下記URLを入力すると応募ページが開きます。

<https://entry.mainichi.jp/app/furusato230430/>  
5月6日まで。

QRコードを読み取っても応募ページにアクセスできます。

※はがきでは応募いただけません。

郵便は元100-8051(住所不要)毎日新聞地方部「わたしのふるさと便」係、メールはt.chihoubu@mainichi.co.jpへ。二重投稿はご遠慮ください。掲載分の著作権は毎日新聞社に帰属します。ただし、投稿者本人の利用は妨げません。毎日新聞の電子媒体にも掲載します。次回からプレゼントの応募には毎日ID(登録無料)でのログインが必要になります。

おかげさまで  
会社設立70周年

# 歩ず 挑戦。

未知の領域へのチャレンジ。  
私たちオバナヤ・セメンテックスは、次代へのさらなる挑戦を続けてまいります。

Q オバナヤ・セメンテックス株式会社

【本社】〒467-0067 名古屋市瑞穂区石田町1-48 TEL.052-851-9361 [WWW.O-CC.COM](http://WWW.O-CC.COM)

セメントテックス事業部  
主に土木機械、重機械材、環境対策の  
新規事業などを展開しています。

クリーンアグリ事業部  
新規事業として、農業機械、環境対策の  
新規事業などを展開しています。

タンカル・ミニマル事業部  
新規事業として、農業機械、環境対策の  
新規事業などを展開しています。

KAI

関孫六 SEKIMAGOROKU

受け継がれる、  
名刀の業と心。

刀匠「関孫六」の業と心は、  
独特な作刀から生まれる、  
芸術品のような美しさ、  
息をのむ最上の切れ味、  
鮮烈な切れ味を魅せつける。

刀匠「関孫六」の業と心は、  
現代の刀物作りに受け継がれ、  
貝印の最先端技術と融合し、  
貝印の刀物作りから生まれる、  
芸術品のような美しさ、  
息をのむ最上の切れ味、  
鮮烈な切れ味を魅せつける。

関孫六ブランドサイトを開設しました。  
<https://www.sekimagoroku.com>

オバナヤ・セメンテックス株式会社は「NPO 杉原千畝命のビザ」の協賛企業です